

平成 20 年 4 月 14 日



国際生物学オリンピック 2009 組織委員会

「第 20 回 国際生物学オリンピック」 オフィシャルホームページの開設について

～ 大会開催 450 日前 4 月 18 日 (金) OPEN ～

大会開催 450 日前にあたる 4 月 18 日 (金)、国際生物学オリンピック 2009 組織委員会 (委員長: 井村裕夫・京都大学名誉教授) は、「第 20 回国際生物学オリンピック」(IBO2009 つくば) オフィシャルホームページ (Japanese 版・English 版) を開設いたしますので、お知らせいたします。

「IBO2009 つくば」オフィシャルホームページは、「IBO2009 つくば」の成功に向け、大会に関する情報発信を目的に開設したものです。

今後は、このウェブサイトを基盤とし、寄付の受付、プレス等への情報の提供、イベント告知などを行います。

なお、「IBO2009 つくば」の日本代表選考を行う“第 1 回全国生物学コンテスト「生物チャレンジ 2008」”(主催: 国際生物学オリンピック日本委員会) の参加受付が開始されました。受付期間は 2008 年 6 月 10 日 (火) まで。

公式サイトアドレス
URL

http://ibo2009.org/index_j.html

【 第 20 回国際生物学オリンピック オフィシャルホームページ TOP ページ (Japanese 版) 】

4/18 (金)	4/19 (土)
晴	晴
18	21
10	12

以上

〈参考資料〉

● 第 20 回国際生物学オリンピック開催概要

名 誉 総 裁 : 本大会の名誉総裁には、秋篠宮文仁親王殿下がご就任されています。

名 称 : 第 20 回国際生物学オリンピック (The 20th International Biology Olympiad)

略 称 : IBO2009 つくば (IBO2009 Tsukuba)

主 催 : 国際生物学オリンピック 2009 組織委員会
国立大学法人 筑波大学
財団法人 日本科学技術振興財団

共 催 : 茨城県、つくば市、筑波研究学園都市交流協議会、
財団法人つくば科学万博記念財団

後 援 : 文部科学省、内閣府(申請中)、厚生労働省(申請中)、農林水産省、
経済産業省、環境省(申請中)、日本学術会議、茨城新聞(申請中)、
日本放送協会水戸放送局(申請中)、茨城放送(申請中)、常陽新聞新社(申請中)

協 賛 : ダイヤモンドスポンサー : 武田薬品工業株式会社
プラチナスポンサー : アステラス製薬株式会社、大正製薬株式会社
ゴールドスポンサー : 株式会社日立製作所、株式会社ベネッセコーポレーション、
大日本住友製薬株式会社
ほか、22 企業・団体、個人寄付者 (4 月 11 日現在)

開 催 期 間 : 平成 21 年 7 月 12 日(日)~7 月 19 日(日) 8 日間

開 催 場 所 : 茨城県つくば市(筑波大学を中心としたつくば研究学園都市)

参加国数・参加人数 : 参加国数: 60 カ国(予測)
各国代表生徒: 240 名(各国 4 名まで)
各国リーダー・オブザーバー: 200 名(予測)
主催国スタッフ: 100 名

表 彰 : 各国の参加生徒は、個人で参加し実験と理論の成績を総合評価して成績の上位から概ね 10%、20%、30%にそれぞれ、金メダル、銀メダル、銅メダルを授与します。参加者の 60%にメダルを授与します。

シンボルマーク



日本の研究者が中心となって保護活動が進められている絶滅危惧種「アホウドリ」は、教育と地球環境の保全を願う生物学オリンピックの精神に合致し、かつ世界に羽ばたく若者を象徴する。それを筑波山のシルエットとともに、友好と平和を意味する円形の中に表した。

● 国際生物学オリンピックについて

国際生物学オリンピック (IBO) は 1990 年に旧チェコスロバキアのオルモウツで第 1 回大会が開催され、生物学に関心を持つ高校生を対象としたコンテストで、

a) 生物学的問題の創造的な解決方法により、生物学的研究への活発な興味を鼓舞する。

- b) 生物学教育に関するアイデアと教材の交換を推進する。
- c) 生物学を学ぶ学生間での定期的な国際的交流を推進する。
- d) 様々な国の若者たち同士の友好関係を樹立し、それにより国家間の協力と相互理解を促す。

ことを目的としている。(国際生物学オリンピック開催規約第1条)

わが国は、2005年7月に中国・北京市で開催された第16回大会から参加している。

<問い合わせ先>

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会事務局

担当 中野、水野

東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

財団法人日本科学技術振興財団内

TEL 03-3212-8477